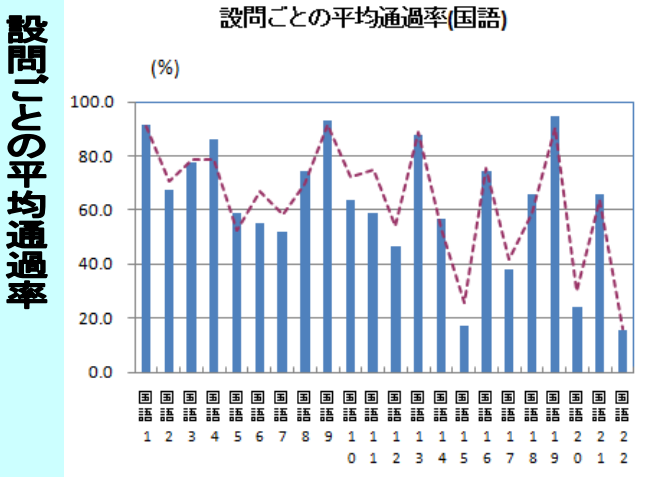
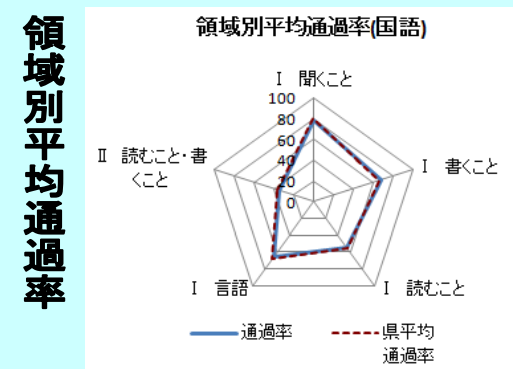


指導方法等の改善計画について〔国語科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 62.0%, 県 63.7%) 対県比 97.3 %



| 全国学力・学習状況調査 本年度正答率 |          |
|--------------------|----------|
| A問題                | B問題      |
| 本校 77.2%           | 本校 55.3% |
| 全国 72.9%           | 全国 57.8% |
| 県 78.4%            | 県 60.5%  |

本年度の結果について

○全体的な傾向  
A 問題は全国平均を上回ったが、B 問題は全国平均を下回った。A 問題でのよい領域は「話すこと・聞くこと」であったが、B 問題の「話すこと・聞くこと」には課題がみられた。さらに、両領域とも「読むこと」に大きな課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果・課題  
昨年度は、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関連付けながら「書くこと」に課題があった。本年度もB 問題での「書くこと」の領域において、「文章と図に関連付けて自分の考えを書く」ことに課題があり、指導の改善が必要であるとする。そのためには、課題の大きかった「読むこと」の領域の能力も高めていく必要がある。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値 対全国比 100%

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査  
【課題1】(中心となる語や文の把握の問題) (17.2%)  
「読むこと」において、中心となる語や文の把握をする問題で、問題文から必要な情報を選択することが出来た児童が、17.2%だった。

【課題2】(情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述をする問題) (15.5%)  
・「書くこと」において、情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述をする問題で、十分な情報を取り出し、接続語を使って論理的につながった文章を書くことができた児童が15.5%だった。

全国学力・学習状況調査  
【課題1】(質問の意図を捉える問題) (36.2%)  
・「話すこと・聞くこと」の領域で、質問の意図を考える問題で、筆者の意図や思考を想定し、文章全体の構成を捉えることに課題がある。

【課題2】(グラフを基に、分かったことを的確に書く問題) (44.7%)  
・「書くこと」において、早寝早起きをするための課題と解決方法を書く問題で、文章と表に関連付けて、自分の考えを書くことに課題がある。

※今後の改善計画は別紙

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

「基礎・基本」定着状況調査  
【課題1】目標値(80%) 実施後数値( ) %  
・問いと答え、主語と述語、原因と結果、主張と根拠などの論理を読み取るなど、指導項目を焦点化して指導する。

・課題に対して、必要な情報を取り出し、正確に伝えることができる指導を行う。

【課題2】目標値(80%) 実施後数値( ) %  
・課題に対して、必要な情報を取り出し、正確に伝えることができる指導を行う。

・読み取ったことを基にテーマに沿った作文をする活動をさせ、その中で文章構成や論理的につながった文章の指導を行う。

全国学力・学習状況調査  
【課題1】目標値(80%) 実施後数値( ) %  
・問いと答え、主語と述語、原因と結果、主張と根拠などの論理を読み取る指導を行い、文章全体の論理の構成を捉えていくようにする。

【課題2】目標値(80%) 実施後数値( ) %  
・文章と図やグラフなどと関係付けて、自分の考えをまとめる指導を行う。説明的な文章を書く際に図やグラフなどを効果的に用いることができるように指導を行う。

・「必要な情報」に注意して読む指導を行う。また、読み取った情報を基に、字数の制限をして内容をまとめて書く指導を行う。

指導方法等の改善計画について〔算数科〕

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 68.5%, 県 69.4%) 対県比 98.7 %

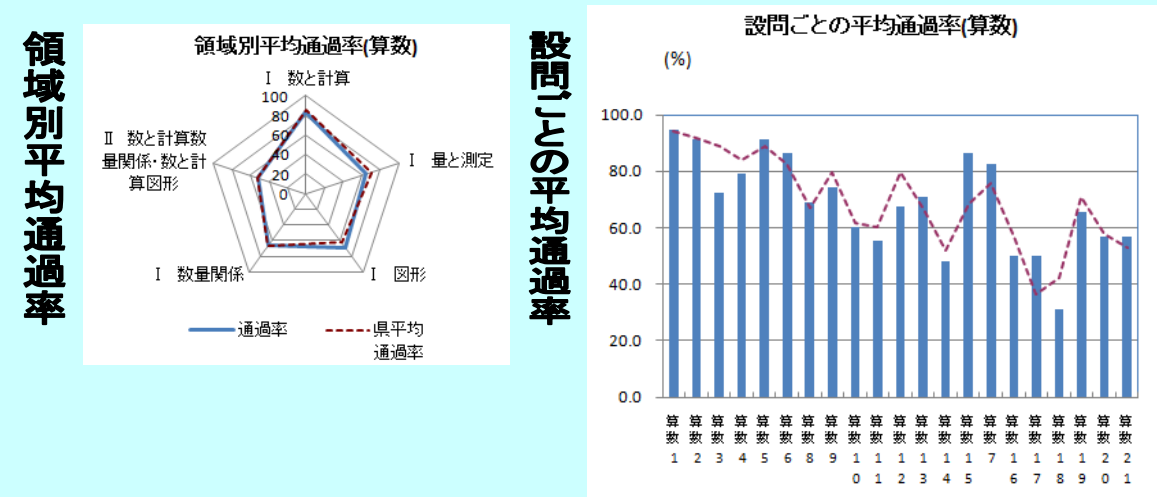
| 全国学力・学習状況調査 本年度正答率 |          |
|--------------------|----------|
| A問題                | B問題      |
| 本校 72.7%           | 本校 45.2% |
| 全国 77.6%           | 全国 47.2% |
| 県 79.7%            | 県 49.5%  |

本年度の結果について

○全体的な傾向  
A 問題の正答率が 72.7%, B 問題は 45.2%となっている。このことから「活用」に関する問題に課題があることがわかる。A 問題では「量と測定」領域と「数量関係」領域に、B 問題では「図形」領域に特に課題がある。

○昨年度の課題への取組の成果・課題  
昨年度は示された条件等を整理し、答えを選んだ理由を書く問題や図形の定義や性質を使って解く問題に課題があり、本年度も同じ傾向にある。指導の改善が必要である。

来年度(全国学力学習状況調査)の目標値 対全国比 100%



重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(折れ線グラフと棒グラフを関連付ける問題) (31%)

- 折れ線グラフの数値と棒グラフの数値を関連付けて考察し、正しく記述説明できた児童は31.0%であった。

【課題2】(ひし形の性質判断の問題) (48.3%)

- ひし形の性質とかき方を関連づけて考え、ひし形をかくために、ひし形のどのような性質を用いているか選択できた児童は48.3%であった。

全国学力・学習状況調査

【課題1】(1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解する問題) (44.7%)

- 基準量を80、比較量を100と誤っている児童が23.4%であった。

【課題2】(示された除法の式を並べてできた形と関連づけ、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述する問題) (2.1%)

- 正答の3つの条件の内、1つの条件だけを記述している児童が44.7%であった。2つの条件を記述している児童が19.2%であった。3つの条件全てを記述できている児童は2.1%と極めて少なかった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値(80%) 実施後数値( )%

- 折れ線グラフや棒グラフに数値を書き込む等、手がかりを書きこむよう指導する。
- 問題文の意味をしっかりと理解させる。そのために、文章問題で必要な条件に実線、求めることに波線を引くよう指導する。また、問題文を図や数直線、表等にし、それをもとに立式するよう指導する。

【課題2】目標値(80%) 実施後数値( )%

- 作図の方法等、方法論だけ覚えさせるのではなく、どうしてそのような方法でできるのか考えさせる。ナンバリングして考えを整理し、それを用いて論理的に説明するよう指導する。

全国学力・学習状況調査

【課題1】目標値(80%) 実施後数値( )%

- 示された情報から基準量と比較量、割合の関係を正しく捉え、基準量を正しく求めることができるように指導をする。数直線を用いて、数量の関係を整理するなど指導の工夫を行う。

【課題2】目標値(80%) 実施後数値( )%

- 示された考えを基に、根拠となる事柄を過不足なく説明することができるよう指導する。日常的に自分の考えを説明する際には、根拠を明確にし、ナンバリングを用いるなどして過不足なく説明できるようにする。

※今後の改善計画は別紙

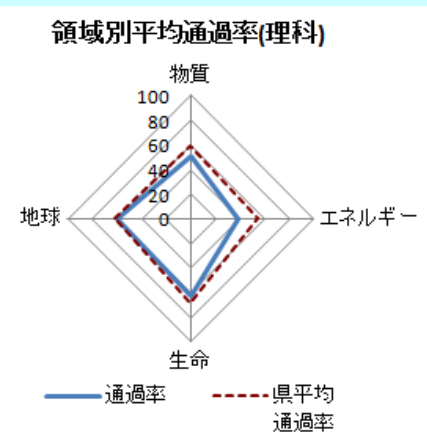
「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 53.2%, 県 60.8%)

対県比

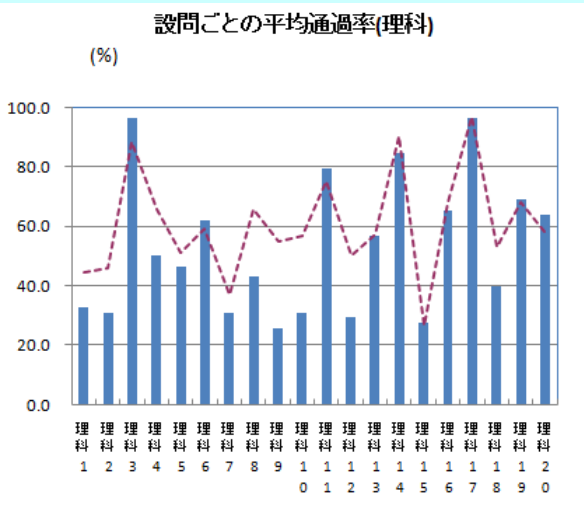
87.5 %

本年度の結果について

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



- 全体的な傾向  
エネルギー領域の学習に課題があることがわかる。  
特に、回路のつなぎ方の問題、太陽の動きと影の関係の問題の課題が大きかった。
- 昨年度の課題への取組の成果・課題  
昨年度も同様の問題に課題が大きかったので、課題改善に至っていないといえる。  
指導の改善が必要である。

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(直列つなぎの回路のつなぎ方の問題) (25.9%)

- 直列つなぎの回路のつなぎ方を図に表すことに課題がある。正しく図に回路をかくことができた児童が 25.9%であった。

【課題2】(太陽の動きと影の関係の問題) (27.6%)

- 太陽の動きと影の関係について、正午にできる影の位置は分かるけれども、その理由が無回答であるところに課題がある。正しい記号を選び、理由を説明できた児童は 27.6%であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (80%) 実施後数値 ( ) %

- 直列つなぎと並列つなぎの性質を十分理解させる。そのために、回路を様々につなぐ実験をしっかり時間をとって行う。また、条件に合うように、図に回路をかきこむ学習を繰り返しさせる。

【課題2】目標値 (80%) 実施後数値 ( ) %

- 太陽の動きと影の関係を学習する中で、東西南北の方位を使って、太陽と影の位置関係の学習を繰り返し行う。

※今後の改善計画については別紙